

鈴木ひでなおの

3月議会報告

令和8年4月 鈴木ひでなおを育てる会

みなさん、こんにちは。3月議会では、3つの課題について、執行部とやりとりしました。

1 擁壁や法面の安全は どうなっているか

◎水道管や下水道管をはじめ、橋、農業用水の沼の堤体等のインフラの多くが老朽化して更新や修理が求められている。では、数ある擁壁や法面はどうか？

Q 工事中の町道114号線法面災害防止対策工事の経緯は。(町職員駐車場の先)

A (建設課長)

以前から崩落や落石があり、経過を観察してきましたが、令和5年、露出した岩盤の風化が進行していたため、令和6年度に測量設計を行い、令和7年度から対策工事を進めているところです。

今までも、その場所に合わせた工法で対策を講じてきました。

Q 擁壁や法面の異常に気づいたら。

A (建設課長)

変状が著しい場合には、診断を委託し必要に応じて対策を講じていきます。

【複数年度かかるので早めの対応が必要です】



3つの質問をしました

2 学校給食の充実に 向けて

◎いよいよ小学生の給食無償化が始まるが、危惧される点もある。

Q 無償ということで、給食への関心が薄れる可能性もある。改めて給食の学校教育としての位置づけは。

A (学校教育課長)

食に関する正しい理解と望ましい食生活を養うための食育を児童と保護者に行うとともに生産者との交流も図ります。

Q 給食の充実に、給食センターの充実が必要。どのようなものになるのか。

A (学校教育課長)

災害時の利用を含めた炊飯機能の整備と見学スペースを設置します。また、農家や農協と連携しながら有機農産物の利用向上をめざしたいと考えています。

【給食を通して食への関心を高めたいと願います】

私の
考え



YouTube チャンネル



ホームページ

3 高齢者が安心して 暮らしていけるように

◎通院や買い物をはじめ、地域の集まりに出かけて行けることが重要である。

Q 高齢者の移動手段の確保を町は、どのように進めていくか。

A (長生き支援課長・副町長)

今ある公共交通を維持・充実させるとともに、移送サービスへの支援も行います。また、関係課と連携して、様々な方策を考えていきます。

Q 高齢者の生きがいづくりや新たな活動をしたいグループのための取組は。

A (長生き支援課長)

パトリアには、交流スペースがあり、コピーや印刷機も利用可能です。掲示板による情報交換もできます。

Q 高齢者の世代間交流の場があるとよいが。(厚労省の掲げる「宅幼老所」)

A (長生き支援課長)

交流スペースが1階にも2階にもありますので、パトリアに訪れる子どもたちやサークルの方々との交流が生まれることを期待しています。また、関係課と連携しながら研究していきます。

【高齢者同士だけでなく交流を広げたいです】

発行連絡先

小川町東小川 6-23-12

Tel 070-5374-5891

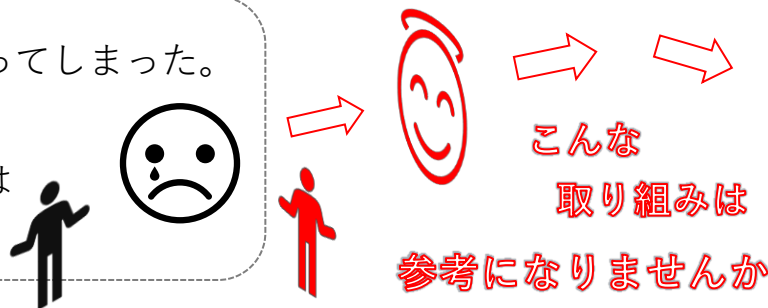
鈴木 秀尚

住民の思い

住民は主人公になっているか!?

住民の参画

人口3万8千だった我が町、今や2万7千を切ってしまった。
ただ、それだけ小さくなったならば
町民の声を聞いて共に**まちづくりを進める**ことは
できないものだろうか。



小川町の現状について

※接続可能のまちづくりは
当町を含め多くの自治体の共通課題です

◎旧上野台中学校の跡地利用 (UECHU) ◎

コロナ禍もあり、双方向の説明会や意見交換会はなし、国や県の交付金を使って、今のよう
なカタチとなったが、当初のねらいである入居事業者と住民との交流も乏しい。住民が関与
したものではないので、かかわりも少ない。

(打開に向け、運営事業者やNPOが様々取り組み始めたところです。)

こうしたら
どうでしょう

- ・旧特産品売り場の場所を再活用・再利用して継続させていく。
- ・催事や行事、フェスティバル等、多種多様なイベントで、UECHUの存在や可能性を知ってもらう。
- ・商品を販売したい、作品を展示したい人に働きかけて利用や活用を促したいと思います。

◎パトリアおがわ再整備計画 (ふれあいプラザ含む) ◎

コンサルに集約・再整備の立案を委託し、その案についてパブリックコメント
を実施した。この呼びかけに対し様々な意見が町に寄せられたが、原案通り
進めることになり、令和8年度、設計料を計上した。(老朽化した大河公民館の
機能とふれあいプラザのフレイル予防機能をパトリアに移す方向で)

こうしたら
どうでしょう

『利用者が多い施設です、企業にも呼びかけてみてはどうでしょうか!』

ふれあいプラザの命名権を売却、企業が健康施設として
利用する、運営に健康関連企業に参画してもらう等、町・
住民・自治会・企業が共に考えていくように働きかけます。

① 賢く収縮するまちづくり 町の縮小を果敢に実行! (岡山県美咲町)

- ・人口減少に見合ったまちの大きさにダウンサイジング
(反対があっても、対面で意見交換をして理解を得る)
- ・まちの規模が縮小しても、住民の生活をしっかり守る
公共施設は、集約・規模縮小する…しかし、残した施設
や新たに作った施設は、魅力的に
- ◎地域の課題解決を自分たちで考え、自分たちで決定し
自分たちで担う (小規模多機能自治)

② 参加型民主主義の仕組みづくり (東京都杉並区)

- ・子どもの意見を受け止める。(職員が学校に行き、子ども
たちの意見を聞いて施策にいかす)
- ・行政が物事を決めるのではなく、住民が行政と共に
合意形成をしていく。これが「対話と参加」の区政。

※行政は、透明性を確保し、住民が多角的に考えられるように
しっかり情報提供をする→**住民自治の実現**

【気候区民会議】 参加型民主主義の取組～33 の提案

【区民参加型予算】 森林環境譲与税の使い道を考える